



海に泳ぐ

(磯原海岸)

旧暦での「端午の節句」は、今年は6月の何日になるのでしょうか。

政府の低医療費政策が引き起こす 地域の医療崩壊

全国病院アンケートから

「医療・国保問題学習交流会」
日本共産党茨城県議団が主催

日本共産党茨城県議団が主催して「医療・国保問題学習交流会」が23日、水戸市で開かれました。県内各地から地方議員を中心に80名余が参加しました。

はじめに日本共産党国民運動委員会の梅津邦夫氏が「全国病院アンケート調査結果について」と題して講演。党中央が全国9000の病院にアンケートを発送し、724病院から回答が寄せられています。そのデータにもとづく報告でした。

健保3割負担、高齢者への負担増などによる受診や治療の中断が45%の病院で「ある」と答えています。

また、資格証明書（窓口で全額支払い）や保険証なしの受診が「あった」とする病院が70%にのぼります。とくに重症化しての受診が特徴で、手遅れのために

死亡につながった例も記載されています。

経営の困難については多くの病院が「医師・看護師不足」「赤字問題」をあげ、このままでは地域医療が崩壊しかねない実態が浮き彫りになっています。そして、地域の医療崩壊は「政府の低医療費政策によって引き起こされている」という声が圧倒的です。梅津氏は「いのちを守る運動を党派を越えて発展させていきたい」と講演を結びました。

つづいて県議団の「医療・国保問題の取り組み」、常総市の「国保税減免要綱」、筑西市の「国保値上げ反対



日本共産党
北茨城市委員会
事務局 電話 303302

毎週 日曜日発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

http://www.jp-knh.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

住民税の増税反対！

署名への協力
街頭から訴え

日本共産党の福田明、鈴木やす子両市議は、民主党も妥協するなかで強行された改憲手続き法の採決に抗議し、また6月からの住民

税の増税に反対する署名運動を呼びかけて、街頭宣伝に立ちました。そして7月



茨城県議会大会議室にて

の取り組み」が、各議員から報告されました。後期高齢者医療広域連合議会に当選した佐藤文雄氏（かすみがうら市議）からは初議会のような話しされました。

この交流学习会には北茨城市議団も参加。「全国や県内各地の取り組みに学んで、市立総合病院問題をはじめ市の医療・福祉行政の充実をめざして力をつくしたい」と語っています。

の参院選で、自民・公明の悪政に対する審判を下し、日本共産党を伸ばしてほしいと訴えました。

住民税増税に反対する署名用紙は先週の赤旗日曜版にも折り込みました。お声をかけていただければ受け

日本共産党 参議院議員

紙とも子 かけある記

このほど短大時代の友人と三人絵画展を開きました。二年前のある日、「いっしょにやらないか」と誘われ、まだ時間があるからと考えることにしました。ところが、そう甘くはなく、ついに新作は一つもかけず、当日に・・・。

あらためて卒業して30年以上経過した、それぞれの歩んだ道を実感しました。夫の仕事の都合で、各地を転々と転居しながら、ようやく再び絵や焼き物の作品を作り始めた人、体調を崩し、回復してからゆっくりマイペースで描き続けてきた人、年中選挙や活動で走り回りその合間で、一年に一枚か二枚かというかたつむりのようなペースでなんとか描いてきた（私）など、環境も違い生活も

違うもの同士、表現もいろいろです。

おかげで何十年ぶりの旧友や知人、恩師などが訪ねてくれ、思いがけない至宝のひとつを持つことができました。会話のなかで格差社会、子供達をめぐる環境、競争社会の弊害、日々の生活の中で実感している事など、それぞれの思いをかいま見た気がします。参院選挙へ向けて、私自身の新たな闘志をわきたさせる機会にもなりました。



磯原町木皿のAコープ前で